

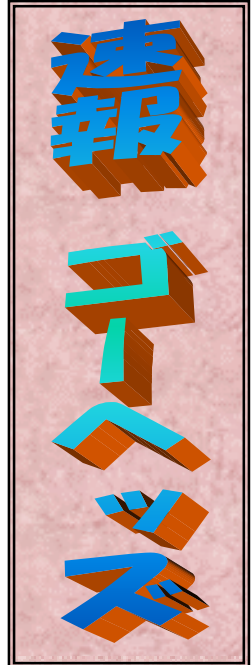
あっぱれな勝利が!!

▶▶▶ 圧倒的な実力差を実感 ▶▶▶

一月二十三日、桐原公園野球場(藤沢市)で首都圏軟式野球大会 横浜ゴーヘッズ対イズム戦が行われた。復帰初戦を飾れなかったゴーヘッズとしては、巻き返しを期待された一戦であったが…

ゴーヘッズは、初回にライトフライに思われた飛球が、オーバーフェンス(ローカルルールにより二塁打)するなど、球場の形状が仇となる場面もあり、リズムを掴み損なつたことは、不運であったが、それを差し引いても、イズム打線の破壊力に、完膚なきまでに叩きのめされた感はない…

前戦、5回を零封した実績を持つ主戦志村の速球をこごとく打ち返すイズム打線。志村が肘痛により本



蘇えれ、ゴーヘッズ!
貴方も、チームオーナーになってみませんか?
支援金は、随時受付けてます。
ご支援をいただいた皆様、厚く御礼申し上げます。

ゴーヘッズ 1回戦で散る!

首都圏軟式野球大会 スライカップ2005



試合終了後のナイン

調子でなかったにせよ、ゴーヘッズが、過去に對戦してきた相手のレベルであれば、十分過ぎるくらいの投球であった。肘痛の志村の後をつ

Merry X'mas
ケーキのご用命なら...志村へ
UNIMAT

「あのカーブは打てない：相手が悪かった。次戦は勝てる相手とやる。」
(二塁手の藤井主将)
「あの投手でも、出塁したので、私たちのレベルアップも見逃せません」
(免球で出塁の中富 山林両選手)

「選手の「ヌント」
ないだ 豪腕おすぎの直球も、相当なものであったが、これでも、イズム打線を止めることはできなかった…
また、イズムの投手陣も驚異的である。直球、変化球ともに高校野球以上の経験を

イズ	143	100	5	13
ゴ	000	202	0	4
	(本塁打)	志村1号、おすぎ1号		
	(2塁打)	志村		

打順	打	安	点	四	振	
1	宮内	4	1	0	0	2
2	藤井	2	0	0	0	2
	(中島)	2	0	0	0	1
3	井上	3	1	1	0	1
4	志村	3	3	2	0	0
5	おすぎ	3	1	1	0	0
6	深沢	3	0	0	0	1
7	山林	2	0	0	1	2
8	大川	1	0	0	0	0
	(松下)	2	0	0	0	0
9	中富	1	0	0	1	1
	(河合)	1	0	0	0	1

	投球回数	失点	自責
志村	2	5	5
おすぎ	5	9	7

持つ者のレベルであろう。これでは、敗因が何かを語る次元ではないが、強いて挙げるとすれば、ゴーヘッズは、あがるべき土俵を間違えたことであろう…。

ただ、ゴーヘッズも、志村、おすぎが3者連続本塁打するなど、打線に幅がでてきたことは、チームオーナー陣の戦力強化策が実ってきた証しである。

そして、この試合では、早朝にもかかわらず、完璧な化粧を施し、試合会場に駆けつけた、女性サポーターや、差し入れ持参の高瀬氏など、強力な応援団を得たことは、今後の飛躍に繋がるものである。